

菓子舗の復旧とパッケージデザイン開発の支援

住所	宮城県気仙沼市田中前2丁目1-8	資本金	-
代表者	齋藤 宏	従業員数	-
創業年	昭和35年	売上高	-
業種	食品製造業		
TEL	0226-23-1636	URL	-

事業概要(被災前)

・気仙沼のマスコットをあしらった「ホヤぼーやサブレ」やゴボウを練り込んだ「ごんぼたれ」、イカ風味のイカ煎餅などを販売。

気仙沼マスコット
ホヤぼーやサブレ



・平成22年11月15日、港にも近い中心市街地で、スーパーを買い取り工場を併設した地上4階建て店舗をリニューアルオープン。(1階は物販・厨房、2階は会議室、キッズルーム)

被災概要

- ・旧店舗リニューアルオープン後、わずか4ヶ月後に津波の影響で全壊。
- ・生産設備も損害を受け、余儀なく営業活動を停止。
- ・平成23年6月15日、気仙沼田中前に新店舗をオープン。
- ・平成23年12月、気仙沼紫市場に仮設店舗をオープン。
- ・被害額7,000万円以上。

旧工場



復興に向けた状況や課題

- ・震災後、復興支援により全国からの注文等多く、売上が震災前の水準を超える時期もあり。時間の経過とともに復興支援が減少し売上高は低下。
- ・「ごんぼたれ」を自前デザインで販売しているが、味には自信があるもののインパクトのないデザインのため、百貨店等との商談成約に至らない。

素材としての地元産品にこだわり
イカ粉末を練り込んだ「いかせんべい」



課題は次のとおり

- ・既存製品パッケージを自前で作っているためデザイン力に限界がある。
- ・百貨店バイヤーの目に止まる商材が少ない。

ゴボウの風味豊かな「ごんぼたれ」



支援テーマと内容

- ・本施設、設備のための資金確保(グループ補助金申請支援)
- ・既存商品のパッケージ改良指針等の提案
ごんぼたれ、いかせんべい、さんまパイ等
- ・新商品開発(気仙沼海鮮マカロン)
「気仙沼地場産」を活用した新商品開発及びパッケージデザイン、ネーミング開発。
(開発の使命)
 - ・気仙沼海鮮マカロンで百貨店を攻略するぞ！
 - ・気仙沼海鮮マカロンを気仙沼名物土産にするぞ！
 - ・気仙沼海鮮マカロンで店頭効果を上げるぞ！
 - ・気仙沼海鮮マカロンでギフト需要も自家需要もつかむぞ！
 - ・気仙沼海鮮マカロンで若い女性層をつかむぞ！

「ごんぼたれ」改良提案



「薬膳菓子」の素朴でナチュラルな感じを和風イメージで
 ・野菜を収穫するイメージを連想させる籠やザル素材を使用

新商品開発した「海風土マカロン」



海風土(シーフード)マカロンの試作品
 (緑:ワカメ、オレンジ:海鞘、白:塩、黒:イカ墨)

支援の成果

- ・宮城県のグループ補助金採択。新店舗が完成し稼働開始。
- ・既存商品「ごんぼたれ」の外装、個装デザインを提案し、改良パッケージが完成した。
 * 現在インターネットを通じて関西にて非常に売れている。
- ・気仙沼海産物(海鞘、ワカメ、塩、カツオ、イカ墨など)を素材とした海鮮マカロンの試作品、及びパッケージデザインが完成。
- ・「海風土マカロン」について、商談会等に出店した際に好評であり、大手百貨店等の引き合いが多数有り。また、東北自動車道の某サービスエリアにて土産物としての商談があり、商談が開始された。

今後の事業展開

- ・首都圏等での商談会等を契機として、新たにKIOSK、ホテル、温泉旅館へもアプローチし、気仙沼海風土(シーフード)マカロン、薬膳菓子ごんぼたれをはじめとした地元気仙沼産のオリジナリティ溢れる商品で販路拡大を目指したい。
- ・販売試食用商品を用意し、試食の際のアンケートを実施し、より多くの意見の集約により商品のブラッシュアップを図る。
- ・三陸縦貫道インター近くに観光客の交流拠点となる工場兼店舗を整備。
- ・店舗では山羊数頭を飼育し、山羊の乳を使ったアイスクリーム、プリンの販売や菓子作り体験コーナーを整備し、子供たちに夢を与えると共に、気仙沼の交流人口増加に貢献する。
- ・地元高校生、地元企業とのコラボレーション企画による、「酒粕ミルク×シフォンケーキ」がメディア等で紹介され、注目される。今後の有力商品として力を入れていく。



酒粕ミルク×シフォンケーキ

事業者からのコメント

今まで様々な商談会、販売会に参加してきましたが、味には自信があるものの、パッケージで目を引く物が無く、なかなか商談には至りませんでした。そこで、グループ補助金等でお世話になった中小機構の震災復興支援アドバイザーに商品パッケージデザイン支援をお願いしました。

今回のデザイン支援を通して、既存商品「ごんぼたれ」のパッケージは一新し、新商品である気仙沼海風土(シーフード)マカロンも開発することが出来ました。

気仙沼海風土(シーフード)マカロンは三陸産の海鞘を使用した他に類を見ないオリジナリティ溢れる商品です。これらの商材を武器に売上げアップ、販路拡大を目指して行きたいと思っております。



齋藤 宏 店長

震災復興支援アドバイザーからのコメント

打ち合わせの前に被災された店舗を見て唖然としました。私は神戸で震災体験も有るのですが津波による被害は神戸の比では有りませんでした。そんな中でも新たなモノづくりに積極的に前向きに取り組まれている齋藤店長の姿勢に感動した次第です。

美味しい製品を開発する力をお持ちでありながらアイデアが豊富すぎるのか次から次へと出されるのですが全体を見るとバラバラに見えてしまうのと製品に込めた狙いがパッケージとして伝わってないのでそれを改良指導する事にいたしました。新たな販路を開拓し攻めるにはストーリー性の有る製品が必要となるので気仙沼産をアピールが出来る商品としてマカロン開発を提案し実現しました。



震災復興支援アドバイザー
 デザイナー 岩野 了